

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970400566
法人名	医療法人 健和会
事業所名	グループホームふれあい天理
所在地	奈良県天理市中之庄町531 (電話) 0743-61-0015
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年11月7日

## 【情報提供票より】(20年10月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年3月2日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 9 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	11.7 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	350,000円 有	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,600 円			

### (4) 利用者の概要(10月27日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 86.4 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈良東病院 うおずみ歯科診療所天理
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療・福祉・在宅サービスの総合施設の中に立地し医療法人健和会が運営するグループホームです。管理者は永年認知症ケア係わってきた看護師でかかりつけ医は隣接する病院の認知症に理解ある専門の医師となっています。家族と共に1泊旅行されるなど、利用者の気持ちを汲み取り利用者・家族・職員が共に楽しめる機会を多くもたれています。ホームでの生活は職員の暖かい見守りの中で個々の生活を大切にされ、利用者はゆったりと穏やかな時間を過ごされています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 市町村との連携は、メールや電話で情報や行政面からのアドバイスなども得て連携を持たれています。評価の意義の理解と活用については、自己評価も職員全員で取り組み、ホームの状況等を報告するためにふれあい新聞を発行する等サービスの改善に活かされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員の意見を聞きながら作成され、職員全員が評価の意義を理解しサービスの質の向上に取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 家族・市職員・地域包括支援センター職員・区長など幅広いメンバーで開催され、事業内容の報告や話し合いサービスの改善に活かすようにされていますが、今後は、評価の報告や取り組み状況等についての話し合い等改善経過のモニター役としてメンバーからの意見を引き出し改善に向けて取り組まれるよう期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 関連施設には意見箱が設置され本部からホームに伝わる仕組みとなっています。また家族と話す機会を多く持ち家族から意見や不満苦情を聞きだすように努め、得られた情報は前向きに検討されています。
重点項目	日常生活における地域との連携 地域密着型サービスを正しく理解し、地域との関わりが大切であるとの認識の下、地域から離れているという立地上の問題を克服するため、積極的に地域に出かけていき、ふれあう機会作りをされています。地域の方の農園を借りて野菜作り等の指導を受けるようにする等交流する機会を持つよう工夫されています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念「地域とのふれあいを大切に」に基づき事業所独自の理念として「人との温かいふれあいの心」を掲げておられます。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼時に、また、ミーティングなど折りに触れて管理者と職員は理念を共有し、日々のケアに取り組んでおられます。理念は、事務室、階段の踊場など職員が気づき易い場所に掲示し介護の拠りどころとされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域密着型サービスを正しく理解し、地域との関わりが大切であるとの認識の下、地域から離れているという立地上の問題を克服するため、積極的に地域に出かけていき、ふれあう機会作りをされています。地域の農園を借りて野菜作り等の指導を受けるようにする等交流する機会を持つよう工夫されています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員の意見を聞きながら作成され、評価を実施する事で新たに気づく事も多くあり、改善点を職員、管理者とて具体案の検討や実践に繋げるように取り組まされています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は開催され家族、区長、市職員、地域包括支援センター職員など幅広いメンバーで構成されています。会議では、日々の活動を報告し参加者の意見をサービスの改善に活かすようにされています。		日々の活動報告はされていますが、今後は、評価の報告や取り組み状況等についての話し合い等、改善経過のモニター役としてメンバーからの意見を引き出し改善に向けて取り組まれるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話やメールで、アドバイスを受ける等積極的に関係作りをされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	個々の報告はケアカンファレンスや面会時に行う他、たよりや電話などで様子を知らすようにされています。また、金銭管理も伝票にサインを貰われています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人全体で意見箱が設置され、寄せられた意見は、関係部署に伝わる仕組みとなっています。また来訪時に家族から積極的に聞き出すようにされたり、旅行時などにも家族同士の話の中から聞きだせるようにされています。得られた情報はミーティングなどで検討されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者の異動は無く、職員が代わる場合は引き継ぎ期間を十分に持ち利用者が動揺しないように配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で行われる研修には全職員が交代で参加されています。管理者は外部研修にも参加され、研修内容はミーティング時に発表することとされており、職員間で共有し、ケアを実践される上で役立てておられます。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内には当該グループホームの他1ヶ所しかなく、法人内にあるホームとは常に交流が図られています。		市内に係らず近隣のグループホームとの交流の機会を持ち、情報交換や相互訪問を通じ、サービスの質の向上に取り組まれることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>雰囲気を知って貰うために本人や家族に来て貰いながら、また、管理者が入居希望者のお宅に行き本人の生活環境、暮らし振り、リラックスした場でお喋りしながら馴染みの関係を築く努力をされています。入居にあたっては家族と相談しながら支援されています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は比較的若い人が多いため、利用者から昔の生活の知恵、諺、字の読み方、料理、後かたづけなど生活面で教えられる場面も多々あり、お互いに支えあう関係が築かれています。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との日々の関わりの中で職員は何気ない言葉や、行動、表情から汲み取り一人ひとりの希望や意向、思いを日誌などに書き留めてミーティングなどで検討されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の要望なども取り入れ本人本位の介護計画となるように、また、3人の利用者に2人の職員が担当し、日誌などに本人の思い、希望など書きとめ、介護計画の中に取り入れ作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には、3月毎見直しされています。状態が変化した際にはその都度、検討、見直しをする他、ケアプランチェックシートでケアプランの評価もされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じ通院や送迎など柔軟に支援されています。医療連携体制を活かして重度化した場合や終末期の入院回避など対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診通院は本人や家族の希望する医療機関に受診を支援され、かかりつけ医からの情報交換もされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始に当たり、グループホームにおける重度化した場合や終末期のありかたについて家族と話し合われています。また、終末期には家族、医療関係者、管理者、職員が方針を共有して頻繁に話し合いを持ち支援されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者一人一人の気持ちを気遣いながら優しく話し掛け、対応されています。プライバシーについては厳しく管理され、職員にはプライバシーの徹底を指導されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活ペースを大切にしながら支援されています。生活の基礎である食事、入浴、排泄などは本人の意向を聞き、また、その日にしたいことを話の中から汲み取り希望に沿って支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事の準備や配膳、後片づけ等職員と一緒にされています。		グループホームの特性を踏まえ、職員は利用者と一緒にのテーブルに着き同じものを食べ食事が楽しめる環境づくりの検討が望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められてはいますが、利用者の希望されるときには柔軟に対応できる体制はとられています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片づけ、農園での作業、洗濯たたみ、掃除等その方の得意分野を見出し支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は毎日行い、季節に応じ栗拾いや柿取りを楽しめるよう支援されている他、野菜農園での作業による日光浴等一人一人の意向に沿って外出支援をされています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りとチャイムにより日中、玄関は鍵をかけないように支援されています。		安全への配慮からチャイムで出入りを知らせるようにされていますが、ホームは地域密着型サービスとして利用者の自由な暮らしを支援するよう求められていますので、そのあり方の検討が望まれます。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム独自の防火訓練や関連施設合同訓練を実施されています。また、災害に備え、法人全体での協力体制の整備及び食料品や飲料水などの備蓄もされています。		職員だけの誘導では限界がありますので、地域の自治会や老人会などに呼びかけ消防署の協力を得て避難経路の確保、消火器の使い方などの訓練を地域の方を交えて実施される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事摂取量は毎食確認し詳細に記録されています。主食の摂取量をグラムで表示して解りやすくするなどの工夫もされています。水分量も意識して関わるようにされ、月1回は体重測定を実施してグラフで表示し確認されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木製の板張りの廊下は幅が広くゆったりとしており、リビング・食堂・台所は広く、南と東がガラス張りで全体が明るく過ごし易くなっています。食堂の壁には季節の果物、野菜の貼り絵が飾ってあり季節感を採り入れられています。トイレの床は板張りで車椅子対応でも十分な広さを確保する等随所に居心地よく過ごすための工夫が見られます。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたベッド、テレビ、箆笥、椅子、テーブルが持ち込まれ居室は個性ある部屋作りとなっています。ベッドを使用せず敷物の上に布団を敷く等安心して過ごせる居場所となるよう工夫されています。		